

# 吸収合併に関する事前開示書面

2025年2月17日

株式会社オーハシテクニカ  
株式会社オーハシロジスティクス

2025年2月17日

東京都港区虎ノ門四丁目3番13号  
株式会社オーハシテクニカ  
代表取締役 廣瀬 正也

東京都国立市谷保六丁目7番地の9  
株式会社オーハシロジスティクス  
代表取締役 豊泉 勝

### 吸收合併に関する事前開示書面

(吸收合併存続会社：会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に基づく事前備置書面)  
(吸收合併消滅会社：会社法第782条第1項及び会社法施行規則第182条に基づく事前備置書面)

株式会社オーハシテクニカ（以下「吸收合併存続会社」といいます。）及び株式会社オーハシロジスティクス（以下「吸收合併消滅会社」といいます。）は、それぞれ取締役会の決議を経て、両社間で2025年1月31日付合併契約書を締結し、2025年4月1日を効力発生日とする吸收合併（以下「本合併」といいます。）を行うことといたしました。よって、ここに本合併に関する事前開示をいたします。

なお、本合併は完全親子会社間の無対価合併につき、吸收合併存続会社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併、吸收合併消滅会社においては会社法第784条第1項に定める略式合併となります。

#### 1. 吸收合併契約の内容

別紙1「合併契約書」のとおりです。

#### 2. 合併対価の相当性に関する事項

完全親子間の合併につき、本合併において合併対価の交付は行いません。

#### 3. 合併対価について参考となるべき事項

該当事項はありません。

#### 4. 吸收合併に係る新株予約権の定めの相当性に関する事項

該当事項はありません。

## 5. 計算書類等に関する事項

### (1) 吸収合併存続会社

#### ①最終事業年度に係る計算書類等の内容

吸収合併存続会社は、有価証券報告書及び四半期報告書を関東財務局長に提出しております。最終事業年度に係る計算書類等については、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）によりご覧いただけます。

#### ②最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等があるときは、当該臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

#### ③最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容

該当事項はありません。

### (2) 吸収合併消滅会社

#### ①最終事業年度に係る計算書類等の内容

別紙2のとおりです。

#### ②最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等があるときは、当該臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

#### ③最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容

該当事項はありません。

## 6. 本合併効力発生日以後における吸収合併存続会社の債務の履行見込みに関する事項

本合併効力発生日以後の吸収合併存続会社の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併効力発生日以後の吸収合併存続会社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況につきまして、吸収合併存続会社の債務履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。従いまして、本合併効力発生日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みはあると判断しております。

## 7. 備置開始後、上記事項に変更が生じたときにおける当該変更の内容

事前開示開始日後に上記に掲げる事項に変更が生じたときは、変更後の当該事項を直ちに開示いたします。

以上

## 合併契約書

株式会社オーハシテクニカ（以下「甲」という。）と株式会社オーハシロジスティクス（以下「乙」という。）は、乙の権利義務の全部を甲に承継させる吸収合併について、以下のとおり合意し、この契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### 第1条（吸収合併）

甲及び乙は、本契約の定めに従い、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行う。

### 第2条（商号及び住所）

本合併に係る吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、それぞれ次のとおりである。

- |                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 吸収合併存続会社（甲） | 商号：株式会社オーハシテクニカ<br>住所：東京都港区虎ノ門4丁目3番13号    |
| (2) 吸収合併消滅会社（乙） | 商号：株式会社オーハシロジスティクス<br>住所：東京都国立市谷保6丁目7番地の9 |

### 第3条（交付する金銭等）

本合併は、完全親会社である甲と完全子会社である乙との合併であることから、無対価合併とし、甲は、本合併に際し、乙の株主に対して普通株式その他の株式を割当交付せず、乙の株式は、効力発生日に消滅することとする。

### 第4条（資本金及び準備金の額）

本合併は無対価合併のため、合併により甲の資本金等は増加しない。

### 第5条（効力発生日）

本合併がその効力を生ずる日（本契約において「効力発生日」という。）は、2025年4月1日とする。ただし、本合併の手続の進行に応じ必要があるときは、甲乙協議し合意のうえ、これを変更することができる。

### 第6条（会社財産の引継ぎ）

乙は、2025年3月31日現在の貸借対照表その他同日現在における計算を基礎とした資産、負債及び権利義務の一切を、効力発生日において甲に引き継ぐ。

### 第7条（従業員の引継ぎ）

甲は、効力発生日において乙が雇用している従業員全員を引き継ぐものとし、甲及び乙双方の従業員の労働条件の相違に関しては、必要に応じて、甲乙協議の上、調整する。

## 第8条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結日から効力発生日まで、善良な管理者の注意をもってそれぞれの業務執行及び財産管理を行い、その財産及び権利義務に重大な影響を及ぼす行為については、事前に相手方の同意を得た上で行うものとする。

## 第9条（合併承認決議）

- 1 甲及び乙は、本合併は、甲にとって簡易合併、乙にとって略式合併の要件を満たすことを相互に確認する。
- 2 甲及び乙は、2025年1月31日【合併契約日】までに、それぞれ取締役会（以下「合併承認取締役会」という。）を開催し、本契約書の承認及び本合併に必要な事項に関する決議を求める。ただし、甲及び乙は、合併手続進行上の必要性その他の正当事由があるときは、甲及び乙が協議の上、合併承認取締役会を開催する日を変更することができる。

## 第10条（契約の変更及び解除）

甲及び乙は、本契約締結日から効力発生日までの間に、天変地異その他の事由によって甲若しくは乙の財産状態若しくは経営状態に重要な変動が生じた場合又は本契約の目的の達成が困難となつたときは、双方協議の上、本契約の内容を変更し、又は本契約を解除することができる。

## 第11条（契約の効力）

本契約は、第9条に定める合併承認取締役会の承認又は法令に定められた関係官庁の承認を得られないときは、効力を失う。

## 第12条（合意管轄）

本契約に関する一切の紛争は、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

## 第13条（協議）

甲及び乙は、本契約に定めのない事項及び本契約に関する解釈上の疑義については、誠実に協議の上、解決するものとする。

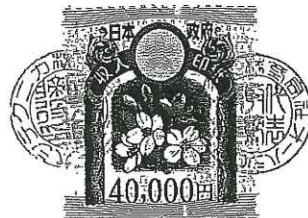
本契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

2025年1月31日

甲 東京都港区虎ノ門4丁目3番13号  
株式会社オーハシテクニカ  
代表取締役 廣瀬 正也



乙 東京都国立市谷保6丁目7番地の9  
株式会社オーハシロジスティクス  
代表取締役 豊泉 勝





(提供書面)

事業報告  
〔 2023年4月 1日から 〕  
〔 2024年3月 31日まで 〕

## 1. 当事業年度の事業の状況

## (1) 主要な事業内容 (2024年3月31日現在)

自動車部品・その他関連部品の納入管理、商品管理  
(株式会社オーハシテクニカ(親会社)の業務を受託)

## (2) 主要な営業拠点 (2024年3月31日現在)

本社	東京都国立市
首都圏物流センター	東京都国立市
北関東物流センター	群馬県邑楽郡板倉町
名古屋物流センター	愛知県高浜市
浜松物流センター	静岡県浜松市
鈴鹿物流センター	三重県鈴鹿市

## (3) 当社使用人の状況 (2024年3月31日現在)

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢
75人(6人)	0名	45.3歳

(注) 使用人数は就業員数であり、研修・パート・嘱託及び派遣社員は( )内に年間の平均人数を内数で記載。

## (4) 営業の概況

第22期は、国内出荷取扱額19,300百万円(業務受託手数料率4.75%)を想定し運営してきた。国内外の自動車メーカーの半導体・部品不足の解消は進み、得意先の一部で不正問題による生産調整はあったが、国内の取扱高は増加して回復傾向が見られた。国内出荷取扱総額は18,060百万円(前年比1,432百万円増加[+8.6%])となった。

営業利益は16,955千円となり、第20期(2022年3月期)以降、営業黒字を確保している。これは、コロナショックから緩やかに景気が回復する一方、ウクライナ戦争の長期化、資源価格やエネルギー価格の高まり等、不透明な厳しい経営環境の下、継続してセンター毎の適正人員の見直し、構成員の多能化、作業量の平準化、

仕事の標準化等をはじめとする業務の効率化、運送業者の集約、退職者の補充抑制等、各種経費の削減を行ったことによる。

取扱額に占める国内経費率の推移は下記の通り

2010年3月（第8期）：5.1%から、第17期：4.38%まで低下し、改善基調が続いていた。それ以降、国内経費率は増加基調にあったが、本期は前期に続き4.66%へ若干低下した。これは、国内取扱高が増加したことが主因であるが、人材の効率的活用と物流費の見直しにより、経費を抑えたことにもよる。

輸出業務は、2023年3月末で終了し、OTC海外事業部へ移管済。

#### ＜国内経費率の推移＞

2010/3 8期	2011/3 9期	2012/3 10期	2013/3 11期	2014/3 12期	2015/3 13期	2016/3 14期	2017/3 15期	2018/3 16期
5.1%	4.78%	4.59%	4.61%	4.54%	4.50%	4.52%	4.47%	4.38%
2019/3 17期	2020/3 18期	2021/3 19期	2022/3 20期	2023/3 21期	2024/3 22期			
4.38%	4.58%	5.14%	4.76%	4.72%	4.66%			

#### ＜輸出経費率の推移＞

2010/3 8期	2011/3 9期	2012/3 10期	2013/3 11期	2014/3 12期	2015/3 13期	2016/3 14期	2017/3 15期	2018/3 16期
—	—	—	—	—	—	—	—	—
2019/3 17期	2020/3 18期	2021/3 19期	2022/3 20期	2023/3 21期	—			
5.94%	6.63%	6.44%	8.85%	11.93%	—			

輸出業務：2018年10月より対応開始、2023年3月で終了。

第23期は、2024年問題による発送費や円安による梱包資材の高騰が見込まれる状況下、業務の安定化と経費率（計画値：国内4.75%以下）の達成に向けて、更に健全な運営を目指す。売上高は960百万円、営業利益は38百万円を計画。

(5) 直近 3 事業年度の損益状況

項目	第 20 期	第 21 期	第 22 期
売上高	1,069,853 千円	1,105,437 千円	859,990 千円
うち、国内	822,078 千円	826,729 千円	859,990 千円
うち、輸出	247,775 千円	278,708 千円	—
営業利益	19,171 千円	84,879 千円	16,955 千円
うち、国内	26,746 千円	36,377 千円	16,955 千円
うち、輸出	▲7,575 千円	48,502 千円	—
経常利益	19,229 千円	86,316 千円	17,056 千円
当期純利益	9,837 千円	54,413 千円	8,595 千円
1 株当り当期純利益	4,918 円	27,206 円	4,297 円
総資産	533,471 千円	596,864 千円	507,381 千円
純資産	254,314 千円	308,728 千円	263,324 千円
国内手数料率	4.7%／5.7% (1 月)	5.7%／4.75% (7 月)	4.75%
輸出手数料率	7.2%／10% (10 月)	10%／16% (7 月)	—

2. 会社役員の状況(2024 年 3 月 31 日現在)

氏名	会社に於ける地位・担当	重要な兼職の状況
堀 越 克 英	代表取締役社長	
柴 崎 衛	取締役	株式会社オーハシテクニカ 代表取締役社長
中村 佳 二	取締役	株式会社オーハシテクニカ 取締役 管理本部長
堀 正 人	取締役	株式会社オーハシテクニカ 執行役員 経営企画部長
正木 聖 二	監査役	株式会社オーハシテクニカ 執行役員 経理部長

3. 株式の状況

発行済株式総数	2,000 株
株主数	1 名
大株主	株式会社オーハシテクニカ 全株保有

#### 4. 来期の見通し

第 23 期は半導体等の不足による得意先の生産調整の解消、不正問題により悪化していた生産の回復が見込まれるが、2024 年問題による発送費の高騰が予見され、効率化の追求と各種経費の見直しに継続して取り組む。

また、第 23 期は豊泉新社長体制がスタートする。従来からの売上高（受託手数料）の増加を前提にしなくとも収益を確保できる体制を更に強化すべく、納入回数の改善、完成品購入の推進、調達先の納期遵守率の業務効率改善、人材育成等により生産性向上を進めることと、西日本地区物流センターの再編に取り組む。

さらに、実地棚卸の業務効率化（棚卸原票タグ方式からバーコード方式へ）を関係各部と協業し、第 23 期中間棚卸より実施する計画である。

最後に不動在庫の削減について、グループ全体の経費削減の観点から、打ち切り部品管理を徹底し、継続管理を行う所存。

引き続きご支援、ご鞭撻をお願い致したい。

以上

# 計算書類

第 22 期

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書  
付 属 明 細 表

株式会社オーハシロジスティクス

代表取締役社長 堀越 克英

# 貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

株式会社オーハシロジスティクス

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
【流 動 資 産】	365,961,062	【流 動 負 債】	92,999,730
現 金 及 び 預 金	159,077,194	未 払 金	32,116,263
売 掛 金	164,208,000	未 払 費 用	17,998,075
貯 藏 品	29,463	未 払 法 人 税 等	381,300
前 払 費 用	14,721,171	預 り 金	1,488,630
短 期 貸 付 金	680,000	賞 与 引 当 金	40,982,640
そ の 他	27,245,234	そ の 他 流 動 負 債	32,822
【固 定 資 産】	141,419,994	【固 定 負 債】	151,057,293
有 形 固 定 資 産	52,027,462	退 職 給 付 引 当 金	129,147,049
建 物	28,591,227	資 産 除 去 債 務	21,910,244
機 械 装 置	2		
車 両 運 搬 具	2,987,036		
工 具 器 具 備 品	20,449,197		
土 地	0		
建 設 仮 勘 定	0		
		負 債 合 計	244,057,023
無 形 固 定 資 産	921,459	( 純 資 産 の 部 )	
ソ フ ト ウ エ ア	921,459	【株 主 資 本】	263,324,033
		(資 本 金)	100,000,000
投 資 そ の 他 の 資 産	88,471,073	(資 本 剰 余 金)	120,000,000
繰 延 税 金 資 産	55,907,789	資 本 準 備 金	120,000,000
敷 金 保 証 金	31,963,284		
そ の 他	600,000	(利 益 剰 余 金)	43,324,033
		そ の 他 利 益 剰 余 金	43,324,033
		繰 越 利 益 剰 余 金	43,324,033
		純 資 産 合 計	263,324,033
資 産 合 計	507,381,056	負 債 ・ 純 資 産 合 計	507,381,056

# 損 益 計 算 書

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

株式会社オーハシロジスティクス

(単位:円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		859,990,000
【 売 上 原 価 】		0
売 上 総 利 益		859,990,000
【 販売費及び一般管理費】		843,034,886
營 業 利 益		16,955,114
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	49,196	
そ の 他	52,458	101,654
經 常 利 益		17,056,768
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 除 却 損	5	5
稅 引 前 当 期 純 利 益		17,056,763
法人税、住民税及び事業税	9,105,704	
法 人 税 等 調 整 額	△644,827	8,460,877
当 期 純 利 益		8,595,886

## 株主資本等変動計算書

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

株式会社オーハシロジスティクス

(単位：円)

資本金	株主資本								純資産合計	
	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計		
	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	100,000,000	120,000,000	120,000,000			88,728,147	88,728,147		308,728,147	308,728,147
事業年度中の変動額										
新株の発行			0				0		0	0
別途積立金の積立			0				0		0	0
剰余金の配当			0			△54,000,000	△54,000,000		△54,000,000	△54,000,000
剰余金の配当（中間配当）			0				0		0	0
当期純利益			0			8,595,886	8,595,886		8,595,886	8,595,886
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）			0				0		0	0
事業年度中の変動額合計	0	0	0	0	0	△45,404,114	△45,404,114		△45,404,114	△45,404,114
当期末残高	100,000,000	120,000,000	120,000,000	0	0	43,324,033	43,324,033		263,324,033	263,324,033

# 付 属 明 細 書

自 2023年4月1日  
至 2024年3月31日

株式会社オーハシロジスティクス  
代表取締役社長 堀越 克英

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位 : 円)

区分	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	期末減価償却累計額 又は償却累計額	当期償却額	差引期末帳簿価額
有形固定資産	建物	90,148,695	11,153,351	2,556,344	98,745,702	70,154,475	2,919,450	28,591,227
	機械装置	2,844,000	0	0	2,844,000	2,843,998	0	2
	車輌運搬具	11,623,000	622,000	0	12,245,000	9,257,964	2,365,071	2,987,036
	工具器具備品	274,529,417	6,135,490	6,859,253	273,805,654	253,356,457	5,741,449	20,449,197
	リース資産	6,090,000	0	0	6,090,000	6,090,000	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	0			0
	計	385,235,112	17,910,841	9,415,597	393,730,356	341,702,894	11,025,970	52,027,462
無形固定資産	ソフトウェア	1,459,500	610,000	0	2,069,500	1,148,041	197,166	921,459
	計	1,459,500	610,000	0	2,069,500	1,148,041	197,166	921,459

(注) 1. 当期増加額の主な内容は以下のとおりであります。

建物	LED化工事	3式	11,153,351 円
工具器具備品	複合機、プリント取得	4台	2,465,500 円
	パソコンの取得	2台	1,151,390 円
	コンピューター取得	1台	748,900 円

2. 当期減少額の主な内容は以下のとおりであります。

工具器具備品	簡易スロープの除却	1式	2,200,000 円
	複合機、プリント除却	6台	2,141,003 円
	空調設備	1式	515,000 円

## 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 增 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高
賞与引当金	35,358,604	40,982,640	35,358,604	40,982,640
退職給付引当金	126,284,697	6,635,694	3,773,342	129,147,049

## 3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	11,384,472	
給 与 手 当	252,277,901	
賞 与	29,243,878	
賞与引当金繰入額	40,982,640	
法 定 福 利 費	52,850,956	
派 遣 手 数 料	18,632,692	
退 職 給 付 費 用	14,098,698	
荷 造 運 費	179,177,784	
広 告 宣 伝 費	46,235	
福 利 厚 生 費	4,390,721	
旅 費 交 通 費	295,401	
通 信 費	3,306,821	
交 際 費	28,500	うち寄付金 5,000円
会 議 費	772,864	
維 持 修 繕 費	9,230,008	
支 払 手 数 料	1,597,974	
業 務 委 託 手 数 料	19,438,140	
会 費	11,000	
事 務 消 耗 品 費	7,621,334	
減 価 償 却 費	11,223,136	うち資産除去債務減価償却費 1,000,937円
賃 借 料	156,477,486	
リ 一 ス 料	9,663,090	
水 道 光 熱 費	10,763,899	
車 両 費	930,929	
保 険 料	344,540	
教 育 研 修 費	94,600	
採 用 費	415,000	
租 稅 公 課	674,868	
雜 費	7,059,319	うち資産除去債務利息費用 102,837円
合 計	843,034,886	

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

- ① たな卸資産の評価基準及び評価方法  
・貯蔵品 最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 定率法によっております。  
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法によっております。
- ② 無形固定資産 定額法によっております。  
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
- ③ リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産。  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。
- ② 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。  
なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ① 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

- 普通株式 2,000株

## 監査報告書

2023年4月1日から2024年3月31日までの第22期事業年度の取締役の職務の執行に関する、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役、使用人及び親会社の監査役その他の者等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### （1）事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### （2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年6月7日

株式会社オーハシロジスティクス

監査役 正木 聖二

